

施策評価シート(令和3年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0303	政策名	生涯学習の推進	施策主管課	生涯学習課	課長名	佐々木 正晴			
政策の目指す姿	自主的な生涯学習活動を活発に行っています									
施策No	02	施策名	青少年の社会教育	関係課名	総務課、市民生活総合相談センター					
施策の目指す姿	地域社会の中で、自立した青少年が育つ環境が整っています									
現状と課題										
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の中で行事やボランティア活動に、青少年が参加していると思う市民の割合が、平成30年度に27.0%となっており、少ないと捉えられています。 ・花巻警察署管内の少年補導者数は減少しています。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年が参加しやすい事業の計画と、事業の周知方法を検討する必要があります。 ・非行の発生をさらに減らすため、継続した非行防止の取組が必要です。 ・インターネットやスマートフォンの普及などにより犯罪が多様化していることから、時代にあわせた青少年の非行防止策を講じていく必要があります。 										
前年度の評価の振り返り										
前年度評価時の今後の方向性										
<ul style="list-style-type: none"> ・地域で行われている世代間交流事業などについて、感染症対策に配慮した少人数でのこまめな実施や、WEBの利用など、新たな手法での開催について、実施主体である、生涯学習課や各コミュニティ会議などによる相互の情報共有を行い開催手法を模索する。 ・成人式の開催にあたっては、感染症の状況を見据えた最適な方法での開催について検討を進める。 ・民法の改正施行に伴い、令和4年度以降の「成人式」のあり方について、社会教育委員会議等から意見聴取するなどして方針を検討する。 										
反映状況										
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習課と各振興センターで今の時代に合った講座開催等事業の開催手法について模索し、リモート開催や配信による開催などの手法について共有を図った。 ・新型コロナウイルス感染症対策を講じた成人式の開催方法について会場選定や、入場方法、来賓の出席、保護者への対応などを検討し、十分な感染症対策を行ったうえで開催した。 ・令和4年度以降の「成人式」のあり方について、当事者、関係者等にアンケートを実施したうえで、社会教育委員会議及び教育委員に意見聴取を行い、これまで通り20歳で開催し、名称を「20歳のつどい」とする方針を決定した。 										
1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組										
<p>(1) 青少年活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 青少年健全育成のための事業の実施 ・「はなまきおもしろ探検隊」事業の実施 ・花巻市成人式の開催 ・非核平和推進事業の実施 青少年健全育成事業の支援 ・花巻市青少年育成市民会議への補助 <p>(2) 青少年の非行防止</p> <ul style="list-style-type: none"> 少年センター等による青少年の非行防止 ・少年補導委員による街頭補導活動の実施 										
2 成果指標										
成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H30	H31	R02	R03	R04	R05
地域で行われている行事やボランティア活動に、青少年が参加している市民の割合	青少年が地域の中で行事やボランティア活動に加わるなど、地域社会の一員となって育っているかどうか市民の認識の度合いを示す指標	出典：市民アンケート 問：地域で行われている行事やボランティア活動に、青少年（小学生～20歳位）がよく参加していると思いますか？ (1)そう思う(2)どちらかといえばそう思う(3)どちらとも言えない(4)どちらかというとそう思わない(5)そう思わない (1)(2)と答えた市民の割合	%	目標値	37.00	39.00	37.00	38.00	39.00	40.00
				実績値	27.00	25.40	19.10	17.50		
青少年の健全育成活動にかかわった市民の割合	青少年の育成のため、地域での子どもの見守りや健全育成活動など、具体的な市民の取り組み状況を示す指標	出典：市民アンケート 問：あなたは、昨年1年間に何らかの青少年健全育成活動（子ども会、スポーツ少年団等の地域の青少年団体活動、スクールガード等）にかかわったことがありますか？ (1)ある(2)ない (1)と答えた市民の割合	%	目標値	27.50	29.00	27.00	28.00	29.00	30.00
				実績値	20.60	21.20	13.70	14.60		
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
D	<p>成果指標「地域で行われている行事やボランティア活動に、青少年が参加していると思う市民の割合」・・・【達成度c】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値に遠く及ばない数値かつ昨年度より数値が下がっているのは、大人数で行う地域行事等が軒並み中止となり、昨年度に引き続き参加できるボランティア活動が制限されていたからと史料される。 <p>成果指標「青少年の健全育成活動にかかわった市民の割合」・・・【達成度c】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値に遠く及ばない数値となったが、前年度より数値が上がっているのは、アンケートに例示している「スポーツ少年団」や「スクールガード」等の活動が昨年度に比べてすべて中止とならず実施しているものもあったためと史料される。

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
特になし
<p>施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか</p> <p>(青少年活動推進事業)今年度の成人式は、万全な感染対策を行ったうえで開催することができたが、新型コロナウイルス感染症の影響により成人式記念行事実行委員会の活動に制約が生じ、活動スケジュールの遅れがみられたため、実行委員会活動のあり方について検討する必要がある。</p> <p>(非核平和推進事業)非核平和学習会(広島市へ小学生を派遣)については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施されておらず、次代を担う子どもたちに向けた新たな形態での取り組みが必要である。</p>
新たに取り組むべき事業はないか
特になし

5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・成人式記念行事実行委員会のあり方について、新型コロナウイルス感染症対策の観点からスムーズな運営となるよう工夫が必要となっている。 ・花巻警察署による不良行為少年補導件数は令和3年度において30件(前年度比17件の減)と減少傾向にある一方、不審者による子どもの生命または身体を害するような声かけやつきまとい行為などの認知事案が24件(前年比4件増)となっており、引き続き地域での見守り活動が課題となっている。 ・非核平和推進事業における非核平和学習会(広島市へ小学生を派遣)については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施されておらず、次代を担う子どもたちに向けた新たな形態での取り組みが必要である。
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策の観点から、成人式記念行事実行委員会の開催時期を早める、会議の回数を減らしつつ効率よく意思決定を図るように促す等あり方について検討する。 ・少年補導委員は教職員、地域の推薦者等へ委嘱しており、警察や学校、地域の方々の連携のもと地域での見守り体制を維持し、少年非行防止のみならず、子どもたちを事件・事故から守る視点での街頭活動を継続する。 ・小学生を対象とした非核平和学習会については、現地(広島市)に赴かなくても現地講師等の派遣やオンライン講座等の方法を検討する。

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
	事業内容(活動実績)		対象	意図	成果
			直結度		
010	青少年活動推進事業費	生涯学習	一致	直結	C
	「はなまきおもしろ探検隊」(小学生を対象とした生涯学習講座)開催(全6回 参加者113名)、成人式の実施(対象者:1011名、当日参加者775名)、青少年関係団体への支援(2件)				
			A		
020	非核平和推進事業費	総務	間接・少数	直結	B
	平和教室の開催(1回、参加者35人)、非核平和展の開催(4日間(開催場所:花巻新渡戸記念館))、(小学生を対象とした非核平和学習会の開催(広島市への派遣)は新型コロナウイルス感染症の影響により中止)				
			B		
030	少年センター運営事業費	市民相談	一致	直結	B
	少年補導委員による街頭補導活動(実施回数239回、新型コロナウイルス感染症の影響により8月から9月は活動を自粛、2月から3月は活動を中止)				
			A		